

平成30年8月20日

第 59 号

公益社団法人 藤枝市シルバー人材センタ 藤枝市藤枝五丁目3番20号 **☎**054-641-5565 会員数 男586名·女315名 901名(8月1日現在)



休農地で、,もち米の田植え " を実施しました。 従事する会員6名が、 借用している市内大新島の遊 梅雨入りして間もない5月28日、

農業支援事業に

ます。 実発展を図りたいと思い 目指して、センターの充 して、会員の安全就労を 事業の契約高アップ、そ て、会員の就業率アップ・ 平成30年度の目標とし

標にしています。 バー会員一〇〇万人を目 全シ協は、 全国のシル

会者の増員が急務となっ える中で、会員確保・入 当センターも仕事が増

ています。

ろしくお願いします。 のご理解とご協力を、

務が多くなっています。 ど福祉サービス分野の業 います。 材センターにしたいと思 に貢献できるシルバー人 の要望に応え、地域社会 生活における新しい事業 育てや家事援助・介護な このような市民の日常 少子高齢化の進む社会 センターの事業も子



平成30年度を迎えて

会員の作業が市民生活を支援 センターの会員確保にご協力を

理事長

大井

市

郎

田植え・かわいい助つ人

んぼに入り、植え方を教わりながら、上手に苗を植幼稚園の園児51名が参加しました。おそるおそる田 えて、楽しい農業体験をしました。 当日は、この田植え作業にかわいい助っ人=高洲南

.開催の藤枝宿ふれあいまつりで活用する予定です。

今秋収穫するもち米は、幼稚園での行事や、

11





-1-

本年度も会員の皆さん

ょ

平成30年度 定時総会

平成29年度の事業報告と収支決算の承認 地区会の開催や女性部の創設など

会議員のご臨席をいただきました。 長、西原市議会議長をはじめ井林衆議院議員、落合県議会副議長・佐野県議 た。総会には、多くの会員の皆さんが参加し、ご来賓として藤枝市の北村市 平成30年度の定時総会を、6月16日に藤枝地区交流センターで開催しまし

りました。 いることに、 ご来賓の方々から、市民生活の支援や事業所での就業で、会員が活躍して 敬意と励ましのご祝辞をいただき、大変有意義な定時総会とな

藤枝市健康福祉部地域包括ケア推進課 藁科課長)が行われました。 修として、高齢者がお互いを支え合う,地域包括ケア,の健康福祉講話 また、総会の議事の後に、多年にわたり活躍された会員の表彰と、会員研



総会に提案された議案

ずれも賛成多数で承認されました。 ② 役員の補充選任について 平成29年度の収支決算の承認 この2つの議案が上程され、い

年間の事業実績 契約金額

3億9千8百万円余

以上の会員の皆さんが就業し、 様々な分野で活躍しており、 般家庭での生活支援や事業所など シルバー人材センターは、60才 その

> 熱心な取り組みが評価され大変喜 ばれています。

のとおりです。 力された事業実績は、 この一年間、会員の皆さんが努 右下の別表

ています。

その一方、シルバーの事業につ

緩和などによって、シルバー人材

派遣制度による業務範囲の

る定年延長や再雇用制度の採

センターの会員確保が厳しくなっ

会員の確保が急務 新会員の募集

変化があります。 センターを取り巻く社会環境にも ていますが、私たちシルバー人材 国は「働き方改革」の政策を進め わが国の人口が減少する中で、

それは、各企業や事業所におけ

表・平成 29 年度事業実績						
			契約金額	受託件数	就業延べ人数	
	請負契約		398,790,497 円	7,265 件	92,703 人	
	内訳	公共	66,645,260 円	183 件	11,646 人	
		企業	249,433,929 円	2,603 件	61,753 人	
		家庭	82,711,308円	4,479 件	19,304 人	
	派遣契約		16,571,533 円	19件	3,689 人	

なりません。 応できるようにしていかなければ

シルバー会員の募集 毎月一回・入会説明会

いただき、一緒に地域社会の要望 是非、多くの方に会員になって

> に応えられるようにご協力をお願 いします。

毎月一回入会説明会を事務所に て実施していますので、お気軽に、 シルバーへの入会については、

の活性化 シルバー人材センター

会員交流の地区会 女性部の事業拡大

平成29年度より実施した「地区

高齢者が活き活きと働ける生涯現役社会 ご相談・ご参加をして下さい。



シ

ルバー人材センターの事業拡大を支援します

ています。

藤枝市長 北 平

る程度の年齢を迎えた で一生懸命、 た高齢者にとって、あ 社会のために働いてき しかし、 私は、今ま 家族や

業では、 ており、 も積極的に取り組んでいただい センターでは子育て支援事業に 組状況をお示ししたところです。 て質問があり、皆様の現在の取 ターの農業分野での活用につい 定例会において、「農福連携」の そのような中で、市議会の6月 環として、シルバー人材セン また、藤枝市のシルバー人材 特に病児保育や託児事 市政に大変大きな貢献

き手不足という視点から、70 産労働人口が減少しており、

働 歳

定年の検討というような話も出

太の方針」が盛んに論議されて

ご承知のように、国では「骨

いるところです。その中で、生

感謝申し上げます。

理解ご支援をいただき、心から また、藤枝市政の各方面で、ご の元気なお顔を拝見し、

大変う

しく思います。

の総会にお招きいただき、皆様

切だと思います。

ら、やりがいと楽しみが一番大

今年もシルバー人材センター

とと感じております。 会の担い手として、更には自身 をしていただいております。 予防にも繋がる大変意義あるこ して活躍されていることは、 自らの経験を活かした仕事を通 健康維持管理、そして、 元気なシルバー会員の皆様が、 介護

事業の拡大と、更なる会員の確上げ、シルバー人材センターの 保に向けて、市としても支援を 揮していただき、活き活きと働 心からお祈り申し上げます。 センターの益々のご発展と、 ける生涯現役社会の機運を盛り していきたいと思っております。 の皆様方のご健康ご活躍 結びに、藤枝市シルバー人材 今後も皆様の意欲と能力を発

> りました。 建設的な提案などの意見が寄せら より良いセンターづくりのための した地区会の開催をとの要望もあ 本年度は各地区の全会員を対象に れ、会員交流の場にもなりました。 力をいただいて、全地区で開催し、 会」は、地区長・班長さんのご協

ます。 女性会員のニーズが増してきてい また、 センター -の 事 業の中で、

増加を図っていきます。 創設しました。家事支援などの事 業内容の拡充と共に、女性会員の 充実していくために「女性部」を そこで、女性会員の就業環境を

会員の安全就労 事故防止の徹底

して、事故防止に努めました。 全講習会や安全パトロールを実施 就業中の事故ゼロを目指し、 安

計15件でした。 事故が6件、賠償事故が9件の合 事故はありませんでしたが、 平成29年度の事故状況は、 傷害 重篤

ことが大事とな るように努める 就業現場の安全 安心して従事す 確認を徹底して、 事故防止には、



栄えある会員の10年表彰

平成30年度の定時総会で、会員の10年表彰が行われ、表彰された 31 名の皆さんに、大井理事長から表彰状と記念品が贈呈されました。





平成30年度定時総会で 表彰された会員のお名前(敬称略)

広幡 # # 型 地区

大高紅大井石千金鶴海石橋林畑出井葉子橋野 勝末健八勝正穏孝恵三政行次治重也男志雄美好子



10年表彰、ありがとう これからも健康に留意し、努めてまいります

出勝

を賜りありがとうございます。 本日は、藤枝市シルバー人材センター平成30年度総会において、 一言ご挨拶申し上げます。

元気な今日がありますのも、理事長さんをはじめ、職員の皆様の温かい こ支援、ご指導があったればこそとお礼申し上げます。 これまで、様々な仕事をさせていただき、また楽しい仲間に恵まれ、

センターの発展と会員皆様のご健康とご多幸をお祈りし、

平成30年度・藤枝市シルバー人材センター

21.....

常務理事・事務局長

後藤 裕和

事務局

次長・村越 祝広

- ・茂川美代子・村松 正行
- ・小林 睦恵・望月
- ・坂巻代里子・貝沼 純也
- ・伊東 照代・小長井博文
- ・大出 和美・大畑 芳樹
- ・池ヶ谷佐登美・八木 悦子

理事長

大井 市郎

副理事長

岸本 孝夫

監

小澤 隆保 三宅 博

* 安全·適正就業委員会 *

- * 専門委員会*
 - ・事業推進委員会
 - ・普及啓発委員会

Huz Hu	• 百及谷无安貝云		
点 度 情 度 点 度 所<	(地 区 長)		
45 41 48 143 143 67 86 80 68 53 97 18 12			
45 41 48 143 67 86 80 68 53 97 18 12	<u></u>		
地 牛藤 碓増 竹岩紅 鷲安加 一前 青村澤 小小 櫻渡 堀藤 小片 原 井 :田 山田 井尾 内崎林 山藤藤 藤田 山田本 澤島 井辺 池田 島山 田 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(会員数)		
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
	各		
章 弘	地 区		
2 ② ③ ③ ⑤ ② ⑥ ② ⑥ ②	ご		
	との		
孝 隆 嘉 志 穏 康 俊 隆 亮 康 邦 次 正 徳 一 保 勝 ブ <mark>勝</mark> !	班		
3 3 10 7 3 10 7 3 3 7 3 3 7 3 T T T T T T T T T T T T	長		
村 山 横 中穂 長桐松 井 三丸 由 池 小 鈴 平 越 口 井 ※ 津積 崎 生田 上 宅山 比 端 沢 木野	<u>*</u>		
ス 辛 辛	不 在		
. .			
前 水 中 小 半 望田 望田 発 山田 島 野 澤田 月日 野 原本端 市 大 大 大 工 米 光 工 一 大 大 大 工 工 米 光 工 一 大 大 工 工 土 土 土 土 土 会 財 本 土 土 土 土 土 土 土 土			
一大秀清さ、廣光弘 広 正 米光正敏 男 二 江護治 平道 幸 則 雄 幸義			

ā.......ā

|栽が生きがい

大洲地区 横井 進

の景色の思い出がある。 行った伊豆半島の綺麗な風景、ま 見た湖畔の風景、夏によく遊びに ドライブやスケートに行った時に 景色、若い頃に富士五湖や箱根へ 山や海岸を遊び回った時に眺めた のが好きで、古里(旧蒲原町)の 子供の頃から自然の景色を見る その他の旅行で見てきた多く

頃から趣味として「盆栽」を始め で表現できたらと思い、 この色々な思い出の風景を盆栽 20代半ば



く生きがいです。 を思い出させる盆栽づくりは楽し 歳を取って遠出が出来なくなっ 家に居ながら懐かしい風景

ります。 栽は挿木から作り始め40年余にな 豆の大瀬崎の景色です。この盆 真柏の寄植盆栽(写真) は、 西

す。 県の天然記念物に指定されてい 生して、その風景は、見事で静岡 多くあり、海岸まで柏槙の木が群 大瀬崎は、子供の頃の思い出い

行けるのは冬のみです。 水掛けが必要で、安心して旅行に 小百鉢ほど盆栽があり、 水掛けが一番大切です。現在、 水の乾きが早く一日に二度三度と 盆栽作りは水掛け三年と言って 特に夏は

事していますが、盆栽の経験が手 と感じています。 れ作業に通じるものが沢山ある 私は現在、庭の手入れ作業に従

でも働けることの悦びを感じるこ その心地良さが、夏の炎天下での れる風情の心地良さを感じさせ 木々の小枝がサラサラと風に吹か 業後のスッキリと奇麗になった とができるのです。 わび・さびの心"が、手入れ作 この盆栽の知識・技術、そして 北風の吹く寒い冬の作業

绘 画

露の里 れた会友、丸山明彦氏の水彩画 五月発行の藤薫第6号に寄稿さ 瓢月亭」を拝見した。

私には映った。 だ始めたばかりなので…と謙虚な なかどうして出色の出来栄えだと 言い回しで語られていたが、なか ご自身は、その作品について未

あきらめていた。 私一人でグループを立ち上げるこ 考えていたものだった。さりとて、 となど、そんな度胸もなく、 まって水彩画、絵手紙とその画歴 ループができないものかといつも **卦な横好き、の域を脱していない。** は十年余になるのだが、未だ、下 シルバー人材センターに入会以 私自身も絵が好きで油絵から始 互助会活動の中で絵画のグ 半ば

の会員にも呼びかけ とばかり早速、 明彦氏の作品との出 て絵画のサークルを **比に電話をした。「他** 会いであった。 一緒に立ち上げませ "我が意を得たり" か。」そんな私の 私は 丸山

稲葉地区 原 \blacksquare 昌 宏

せんか。 そんな満ち足りた時間を共有しま 手の区別はありません。 絵を描こうとする志に上手い下 絵を描く

す。詳しくは原田まで。 をご負担いただくことになりま 会の維持費としていくらか会費

2090 - 6090 - 2467





藤枝大祭 地踊り

き受けてくれた。百万の味方を得 た思いで一気に心の中が晴れ渡っ 方的な要請を丸山氏は快く引

サークル設立の会員募集をさせて

折角の機会なので、以下に絵

いつしょに絵を描きませんか

興味のある方、一緒に絵を描きま しょう。 手紙など)を描くことが好きな方、 絵画(水彩画、 スケッチ画、

介護職員初任者技能講習

働省静岡労働局委託事業)として 高齡者活躍人材育成事業 者技能講習」に多数の応募者があ 女性3名)を選考しました。 受講者を公募した「介護職員初任 藤枝市シルバー人材センターが、 募集定員の12名(男性9名 (厚生労

が行われ、 した。 間に及ぶ技能講習がスタートしま 7月17日に開講式・ガイダンス 9月までの24日間23時

就労し、利用者から喜ばれること 知識を学んだ資格保持者として、 を期待しています。 ひとりでも多くの人が会員として この講習の終了後、 介護の基礎



開講式

子育て支援講習

ます。 の預かり保育の補助などをしてい 行い、イベントでの託児や幼稚園 平成22年より子育て支援事業を

始まり、 平成29年11月からは病児保育も 需要が増しています。



る実技の講習を行います。 お世話の仕方、 しては、 催することになりました。内容と 子どもの病気、 今 回、 保育園で直接子どもに接す 小児科医や保育士から、 保育サービス講習会を開 親子への関わり方、 食事のことなどの

ます。 けて、子育てのお手伝いを一 話の経験のある方、この講習を受 お断りする場合もあります。 てに興味のある方、お孫さんの世 数が不足しており、 してみませんか。 現在、この講習を修了された方 実際に就業し、活躍されてい しかしながら、 依頼が来ても 会員の絶対 子育 緒に

詳しくは事務局へご相談下さい。

植木就業者安全講習

安全・適正就業委員会

で、 26名が参加し開催しました。 5 月 28 日 、 植木作業に従事している会員 シルバー2階会議室

事業推進委員会

運動公園で開催しました。 16名(会員4名)が参加し、 習会を6月7日・8日の2日間、 今回で3度目となる植木剪定講



植木剪定講習の講師と受講者

9月頃

11月頃

広幡・西益津・岡部南・北地区 平成31年2月頃

会員募集 入会説明会日程

平成 30 年 9 月 25 日(火) 平成 30 年 10 月 22 日 月 平成 30 年 11 月 26 日(月) 平成 30 年 12 月 17 日(月) 平成 31 年 1月21日(月) 平成 31 年 2月25日(月)

会場:シルバー人材センター 2F 時間:午後1時30分より

地 区 会

いきます。 今年度も地区会を随時開催して

して、 **「仲間づくり」**を主要テーマと 多くの意見交換を期待しま

開催 (予定)

藤枝東・西地区

青島南・北地区

7月19日 (木)

実施

高洲・大洲地区

瀬戸谷・稲葉・葉梨地区 平成31年1月頃

安 全 標 語

員会において、厳正に審査し、以下のとおり 名から90点の応募があり、安全・適正就業委 に決まりました。 今年も6月に募集した安全標語は、 会員61

秀 賞 (1点

広 幡 地 区 藤田 和枝

安全就業は 健 **あってこそ** 康管理が

秀 (5点)

青島南地区 青木 正

忙ず 今日の作業も安全第 無理をせず

慌てず

青島北地区 加藤 隆男

をいつも心に意識させ 笑顔で作業・防ぐ事故

洲地区 杉山美智子

「ただいま」を 笑顔で迎える

家族かな

働く安全は、 家族への安全 心の安全 回りへの安全、 高洲地区 芳村 和義

藤枝東地区 田中 英雄

まあ いいか!

そのゆるみの先に事故がある

成を目指しましょう!! な標語に負けぬよう、会員全員で無事故の達 安全就業を行うのは「あなた」です。立派

互助会の活動報告と計 画

をいただき、会則による会 旅行や第一回グラウンドゴ 員の慶弔関係やサークル活 できました。 ルフ大会を開催することが 平成29年度の互助会事業 また、 会員の皆さんのご協力 恒例の親睦バス

慶弔関係

サークル活動 喜寿祝48名・弔慰金4名

親睦旅行(日帰りバス旅行) ルフ部が、趣味と健康を兼 ねた活動を実施しました。 ハイキング部、 書道部、グラウンドゴ カラオケ

グラウンドゴルフ大会

した。

熱海梅園へ93名参加しま

が参加しました。 新規の企画でしたが64名

会員の仲間づくり

増進・教養向上を目的に、 親睦融和を図る事業を企画 しています。 会員の積極的な参加を期待 していきますので、多くの 平成30年度も会員の健康

グラウンドゴルフ大会

を計画しています。 今年は、10月27日(土)

す。 が参加し、仲間づくりの一ての人も、昨年以上の会員 助になることを願っていま 昨年参加した人も、 初め

会員親睦旅行

役員で検討中です。 しています。場所は現在、 今年も11月下旬頃を予定

カラオケ部

活動しています。 臓のマイクを使って楽しく 購入しました。カラオケ内 新たにモニターテレビを

議室で行っています。 3時30分、シルバー2階会 日曜日の午後1時30分から 活動は、毎月第1・第3

にもなります。 曲 歌うことで声帯が鍛えら 見学に来て 誤嚥の予防 いかが!!





海トラフ地震」です。 すが、決して忘れてならないものが、 滞による大雨、全国各地で地震、 号は、その内容が中心となります。 席のもと、無事終了出来ました。今 発生確率が増加しているという「南 火等の自然災害が多く発生していま 過ぎました。その間、 さて、今年も早いもので、半分が 今年度の総会も、 大勢の会員の出 梅雨前線の停

くなった方が非常に多かったという なって、避難できず、火災により亡 の犠牲者は、 きます。即ち、「阪神淡路大震災 同様の、直下型地震ということがで ことです。 に近いため、「阪神淡路大震災」と 南海トラフ地震は、震源地が陸地 転倒家具の下敷きと

実施中です。 対象に、家具固定を5台まで無料で の三つですが、藤枝市では、 化・家具の固定・水、 地震の備えの基本は、「家の耐震 食糧の備蓄 全世帯

ては如何でしょうか。 センターにあります。是非、 申請書は、地域防災課・地区交流 利用し

普及啓発委員長 大島 靖之